

mundef news CONTENTS

P2

project magoso
10年ぶりの
マゴソスクール

P3

ケニア・ナイロビの
孤児院を訪問

FFG基金のご協力で
マゴソスクールに
教科書を寄付

P4

MISIAの森
フォトコンテスト
審査結果

SOTOKOTO
MISIAあふれ出る想い
最終回

mundef news Vol.61

音楽とARTを通じたよりよい世界づくりを目指す
mundefの「今」をお伝えするニュースレターです。

mundef news is a report on mundef's current activities,
which aim to change the world in a better way through music and art.

2018年3月31日発行





2月、理事のMISIAはケニア・ナイロビにあるマゴソスクールを訪問しました！ MISIAの訪問は2008年以来10年ぶりです。

この10年、子どもたちへの教育支援や、音楽大会出場のサポート、ライヴの募金活動による運営支援など、様々な形でマゴソスクールと関わり続けてきたMISIA。10年たった現在のキベラスラム、そしてマゴソスクール、そして子どもたちは…それを確かめに、ケニアを訪れました。

マゴソスクールへ向かうためには、アフリカ最大規模のスラム「キベラスラム」の中を歩きます。この10年の間に、ケニアではインフラ事業が進み、強制撤去の後に道路が作られたり電柱が立ったりと、スラムの環境も大きく変わりました。そんなキベラを見て回り、変わってしまった場所、変わらずある線路などを、1つずつ確かめるように歩くMISIA。そのまま30分ほど歩いてマゴソスクールに到着すると、子どもたちの大歓声が！

早速、子どもたちのパワーに驚きながらも挨拶したMISIAに、500人の子どもたちは元気いっぱいの歌と踊りで歓迎してくれました。

その後、マゴソスクールを立ち上げたリリアンに10年ぶりのマゴソスクールの中を案内してもらいました。マゴソスクールは生徒が増えたために敷地を広げ、MISIAが訪れた時の約2倍の広さになったそうです。「新しい校舎もある！」とびっくりするMISIAに、リリアンは数年前に新設された障害のある子どもたちの「スペシャルクラス」も紹介してくれました。スペシャルクラスには10人ほどの子どもがいて、それぞれの成長に合わせた教育を受けているそうです。リリアンは「ケニアでは障害に対しての理解が進んでいないので、こういう施設はとても貴重なんです」と説明をしてくれました。

様々な学年の授業も見学し、午後には、毎年サポートしているケニアの音楽大会で上位の成績を修める子どもたちの音楽やダンスを見学。途中子どもたちに誘われて一緒に踊り出したMISIAは、10年ぶりの子どもたちとの交流をととても楽しんでいました。

さらに嬉しい再会も！なんと10年前にマゴソで出会い、その後卒業した子どもたちがMISIAに会いにきてくれたのです。中にはmudefの支援で進学をした子どもの姿もありました。2007年に初めてマゴソスクールを訪れて子どもたちの現状を知り「彼らの未来のために教育を」と支援を始めたMISIAの願いの通り、みんな本当に立派に成長していました。たくさんの素敵な出会いに再び恵まれた今回のケニア訪問の本当の目的は…次回のmudef newsでご紹介します！お楽しみに♪





ナイロビでの滞在中、MISIAは市内にある乳児院「New Life Home Trust」を訪問しました。

New Life Home Trustは1994年にイギリス人の夫婦によって設立され、50～60人ほどの幼い子どもたちがスタッフに見守られて生活しています。

スラムとともに「ナイロビの子どもたちの現状を知りたい」と事前の約束もなく施設を訪れたMISIAでしたが、その思いを伝えるとスタッフの方が快く案内して下さいました。

New Life Home Trustでは、「自分にできること」でのサポートを支援者に求めている、子どもたちの世話をするボランティアにも自由に参加することができます。

その話を聞いたMISIAは、早速乳児のお世話をお手伝い！子どもたちにできる限りの温もりを感じてもらおうとミルクをあげたり、抱き上げたり、2時間ほどの滞在中、ずっと子どもたちの世話をし続けていました。

ここで暮らす子どもたちは、スラムや路上に置き去りにされたり、親が亡くなったりといった状況で保護されることが多く、保護者がいない子がほとんどです。

しかし、養子や里親への理解が進むケニアでは、子どもたちの多くが、子どものいない夫婦だけでなく、すでに子どもを持つ家庭、シングルの家庭など、様々な人に家族として迎えられていくそうです。

さらに現在は中止されていますが、海外から「子どもを引き取って育てたい」という要望も多く、特に「大変な状況の子にこそ幸せになってほしい」と障害やエイズを持つ子どもたちも積極的に家族として引き取られていくとのことでした。

訪問後「日本でも里親や養子の制度がもっと普及して、多くの子どもたちが幸せに生きる環境が整うべき」と話していたMISIA。みなさんもぜひ国内で、海外で、未来を担う子どもたちのために「自分にできること」を実践して見てくださいね。

〈New Life Home Trust〉 <http://www.newlifelivetrust.org>



今年、ケニアで教育要綱の改定が行われ、マゴソスクールでこれまで使っていた教科書が使えなくなるという事態が起きました。日本と同じように、ケニアにも高校や大学の入学時に全国的な入試があり、この結果によって子どもたちの将来は大きく左右されます。しかし、古い教科書ではこの入試に対応できず、新しい教科書を準備することが緊急の課題になっていました。この課題に、ニュー スキン ジャパン 株式会社の社会貢献活動を行う

「ニュースキングジャパンForce for Good（フォース フォー グッド）基金（以下FFG基金）」が mudefに支援をしてくださり、その寄付金で新しく指定された教科書をマゴソスクールに寄付いたしました！そして、FFG基金には今後もマゴソスクールの支援にご協力をいただけることになりました。今後についても随時HPでご紹介させていただきます。今回のご協力本当にありがとうございました！

石川の森や里山里海の魅力を再発見していただくことを目的とした「MISIAの里山ミュージアム2017 フォトコンテスト」。今年もみなさまから200点の写真の応募をいただきました。

審査の結果、それぞれの賞が決定しました！ここではMISIA6点を写真で紹介します！全ての写真と素敵なコメントはFacebookページでご覧いただけます。ご応募本当にありがとうございました！



SOTOKOTO

MISIAあふれ出る想い最終回



2013年の3月号から約5年にわたって続いてきたMISIAの連載。この4月号で最終回を迎えることになりました。その最後のテーマにMISIAが選んだのは自身が理事として活動する「mufef」についてです。ぜひご覧ください。

そして、5年間で60回を超える連載は、MISIAのたくさんの「学び」と「願い」が詰まっています。ソトコトを通して語り続けてきたMISIAのあふれ出る想いが、これからもみなさんに届きますように！

ソトコトスタッフみなさま、本当にありがとうございました。そしてMISIAの連載を楽しみにして下さっていたみなさま、またお会いできる日を楽しみにしています。

mufef (Music Design Foundation)

mufef (ミューデフ) は、国境も言語も人種も超える「音楽とデザイン」が持つ力で地球規模の課題を解決することを目的に設立された団体です。

「世界中の子どもたちのため、未来の地球のため、よりよい社会を作りたい」その想いを共有するアーティストがmufefに集い様々な活動を展開しています。

mufefへのご支援・ご協力をよろしくお願い致します。
〈ご寄付はこちら〉三井住友銀行 渋谷駅前支店 普通4201703

“We want to make the better world for all children and the future on the earth.”

mufef is a group of artists who share that principle.

We, mufef, try to contribute to solve the issues the Earth and human beings are facing, through the special power of music and design that goes beyond borders, languages and races.

